

各 位

会 社 名 アクモス株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 飯島秀幸  
 ( J A S D A Q ・ コード 6 8 8 8 )  
 問 合 せ 先 事業統括室室長 中川智章  
 電 話 番 号 0 3 - 3 2 3 9 - 2 3 7 7

連結子会社に係る特別損失の発生及び平成 20 年 6 月期中間（連結・単独）  
 並びに平成 20 年 6 月期通期（単独）の業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 6 月期中間期(平成 19 年 7 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)において連結子会社に係る特別損失が発生いたしました。また、平成 20 年 6 月期中間期(連結・単独)並びに平成 20 年 6 月期通期（単独）の業績について、平成 19 年 8 月 10 日付の「平成 19 年 6 月期決算短信」発表の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結子会社に係る特別損失の発生について

当中間連結会計期間において連結子会社に係る特別損失が 55 百万円発生いたしました。主な内訳は、平成 19 年 9 月 21 日付「連結子会社に対する指導票等の交付に関するお知らせ」でお知らせいたしました株式会社マックスサポートの業務管理費返還にともなう損失 32 百万円、同社難波支店に係るのれんに対する減損損失の計上 7 百万円、当社との合併により廃止することになった茨城ソフトウェア開発株式会社の役員退職慰労金 10 百万円、このほか投資有価証券の評価損 2 百万円等となっております。

2. 平成 20 年 6 月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期（平成 19 年 7 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	3,500	80	65	10
今回修正（B）	3,797	27	25	57
増減額（B - A）	297	53	40	67
増減率	8.4%	66.2%	61.5%	

(2) 修正理由

売上高については、297 百万円増の 3,797 百万円(当初予想比 8.4%増)を見込んでおります。主な要因は、3 月決算会社の連結対象子会社茨城ソフトウェア開発株式会社について、同社の平成 19 年 4 月 1 日から平成 19 年 9 月 30 日までの 6 ヶ月間を中間期の連結対象としていたところ、平成 20 年 1 月 1 日付で当社と合併することにもない、平成 19 年 4 月 1 日から平成 19 年 12 月 31 日までの 9 ヶ月分の同社の業績を当中間連結会計期間の連結対象としたことによるものです。また、データ・ブリッジ株式会社の営業不振の影響から営業損失 21 百万円を計上する予定であること、株式会社マックスサポートにおいて、登録派遣社員の社会保険加入による会社負担の法定福利費の上昇やコンプライアンス対策費の支出にともなう管理費など営業費用全般が増加した影響により、当中間連結会計期間の営業利益は 27 百万円(当初予想比 53 百万円の減少)となり、営業利益減少の影響を受け、経常利益も 25 百万円（当初予想比 40 百万円減）となる見込みです。

前記 1 に記載したとおり 55 百万円の特別損失が発生すること並びに株式会社マックスサポートの税効果適用について見直しを行った結果、当中間連結会計期間においては、当期純損失 57 百万円（当初予想は、当期純利益 10 百万円）となる見込みとなっております。

(3)通期(平成19年7月1日～平成20年6月30日)

なお、通期(連結)の業績予想につきましては、現在のところ修正はございません。

(4)ご参考：前期の実績(平成18年7月1日～平成19年6月30日) (単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期(平成18年7月1日～平成18年12月31日)	2,004	28	55
通期(平成18年7月1日～平成19年6月30日)	5,706	232	59

## 2.平成20年6月期 単独業績予想の修正等

(1)中間期(平成19年7月1日～平成19年12月31日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	51	18	20	20
今回修正(B)	51	4	31	31
増減額(B-A)	0	14	11	11
増減率			55.0%	55.0%

(2)修正理由

売上高については、当初予想との差異はなく、51百万円となる見込みであります。また、管理費が当初の予測を下回る見込みのため営業損失は4百万円(当初は営業損失18百万円)となる見込みで、この影響により、経常利益は31百万円(当初予想比55.5%増)となると予想しております。以上の理由により 当期純利益につきましても、31百万円(当初予想比55.0%増)となると見込んでおります。

(3)通期(平成19年7月1日～平成20年6月30日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	103	10	13	12
今回修正(B)	1,100	20	50	50
増減額(B-A)	997	30	37	38
増減率	967.9%		284.6%	316.6%

(4)修正理由

平成19年10月10日付で発表いたしましたとおり、当社は、本年1月1日付で連結対象子会社であった茨城ソフトウェア開発株式会社を吸収合併したことにより事業持ち株会社となりました。この結果、従来の純粋持ち株会社としての事業に、旧茨城ソフトウェア開発株式会社の営んでおりましたシステム開発事業の業績を加えた結果、通期の単独の売上高は1,100百万円(当初は103百万円)、営業利益は20百万円(当初は営業損失10百万円)、経常利益は50百万円(当初は13百万円)、当期純利益は50百万円(当初は12百万円)にそれぞれ修正いたします。

(5)ご参考：前期の実績(平成18年7月1日～平成19年6月30日) (単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期(平成18年7月1日～平成18年12月31日)	43	14	46
通期(平成18年7月1日～平成19年6月30日)	96	11	50

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

以上